

R7第3回群馬県企業局経営基本計画委員会での意見一覧

- ・実施時期：R8.1.7～R8.1.23（書面開催）
- ・提出意見：以下のとおり

委員からの意見	回答内容
<p>○意見①</p> <p>【財政計画>ア 事業量 30年間の電力量と営業収益の見通し】 第3章p21</p> <p>電気事業は企業局の核となる事業なので、説明は特に丁寧にする必要があると思います。</p> <p>売電単価を12円/ kWhで試算している、低位10円/ kWh、高位14円/ kWh</p> <p>⇒この数字が大前提となって以降の数字に繋がるので、12円とした説明は必要。（文中であっても、下段等の注意書きであっても、表記方法は問わない）例えば、次のような内容。>令和6年度の一般競争入札の実績は14円/ kWh。令和7年度は14円/ kWhを下回るが、12円（13円？）/ kWh以上を確保している。よって、過去の落札単価を参考にし、今後の売電単価を12円/ kWhで推計している。（一方で～以降は変更なし）</p>	<p>○「参考資料>投資・財政計画」へ文章とグラフの移行</p> <p>意見③にて、計画期間がR3～12である本文中では30年間の試算が出てくることへ唐突感があるとのご意見いただきております。修正した30年間の電力量と営業収益の見通しの文章とグラフについては、30年間の試算を掲載している「参考資料>投資・財政計画」へ移行することとします。</p> <p>○売電単価12円の説明</p> <p>収益的収支の説明文中に、売電単価を12円/ kWhとした理由を追記いたします。（意見②回答内容のとおり）</p>
<p>○意見②</p> <p>【財政計画>イ 収益的収支】 第3章p21</p> <p>・最初の文、「収入については、～今後大幅な増加が見込まれます」とあるが、「収入」は令和6年度の「実績」が12,297百万円となっており、ここを基準とすると、令和7～12年度の収入が「大幅な増加の見込み」とは見えない（令和3-5年と比べれば現状の表記で良いが、この図表ではあくまで令和6年度の実績との比較で見ざるを得ない）。令和7～9は令和6年より下がっているので、数字だけ見ると収入は現状程度を今後も確保していくという計画といえる？</p> <p>・次の文、「支出についても～純損益は増加傾向の見込みです」についても上記同様、令和6年度の実績4,797百万円を基準として、概ね現状程度を確保していく計画となる？</p>	<p>○文章の修正</p> <p>以下のとおり修正いたします。</p> <p>収入については、リニューアル工事により一部発電所の営業停止の影響で一時的に落ち込むものの、リニューアル後の発電所のFIT適用により、今後大幅な増加が見込まれます令和6年度以上の収益を確保していきます。なお、令和6年度から売電契約の主流となった一般競争入札による売電単価については、過去の落札単価（令和5年度入札：12.15円/kWh、令和6年度入札：14.76円/kWh、令和7年度入札：13.29円/kWh）から、今後の売電単価を12円/kWhと推計し、営業収益を試算しています。</p> <p>支出についても物価上昇（資材価格、人件費等）等により増加傾向ですが、純損益は増加傾向の概ね令和6年度規模の収益を確保していく見込みです。</p>

<p>電 氣 ・ 工 業 用 水 ・ 水 道</p>	<p>○意見③</p> <p>【電気事業>財政計画>イ 収益的収支>30年間の収益的収支見通し】 第3章p22</p> <p>収益は30年間の「ア 事業量」に基づいて試算しているとあるが、<u>支出について説明が一切無い</u>。（30年後は約2倍の支出になっている）</p> <p>・ <u>令和30年以降は12円でも収支がマイナスとなるが、特段説明が無い</u>（P.92-93のイに数字はあるが、これでは原因や対策等は全く不明で、理解ができない）。</p> <p>⇒修正前は30年間収支がずっとプラスだったので特に気になりましたが、<u>そもそもとして、30年間の試算結果が必要でしょうか？</u>他の項目は計画期間中の令和12年までがベースとなるため、企業局の内部資料は別として、<u>本資料では30年分は不要ではないか？</u>（30年分を記載するならば、説明が必要。比較対象として、P.35も30年間の試算をしているが、支出増加の背景や対策の記載があり、グラフも赤字にならないように収入を調整していくのだと読み取れましたので、本件とは異なると考えます。ただ、前後は10年間（令和3-12年）の話をしているのに、急に「30年間」が出てくるのは唐突感があります。その後の内容にも繋がりませんし。）</p>	<p>○「参考資料>投資・財政計画」へ文章とグラフの移行</p> <p>ご指摘のとおり、計画期間をR3～R12としているため、本文中では30年間の試算は不要といいたします。一方で、計画の後方に参考資料として30年間の投資・財政計画を掲載しておりますので、そちらに「30年間の収益的収支見通し」の本文とグラフを移行します。</p> <p>○文章の修正</p> <p>参考資料に移行した上で、以下のとおり文章を修正いたします。</p> <p>30年間の収益的収支の見通しでは、「ア 事業量」の30年間の営業収益の試算に基づいて3つの純損益を試算しています。</p> <p>物価上昇（資材価格、人件費等）や、発電所の新規建設・リニューアル工事による新規の減価償却費の発生等により、支出は増加傾向です。12円/kWhでは、R30に赤字となる見込みで、中長期的な課題として計画的な設備投資や更なる収益性の向上を検討する必要があります。</p> <p>○工業用水、水道事業の「30年間の収益的収支見通し」のグラフも「参考資料>投資・財政計画」へ移行</p> <p>また、工業用水、水道事業についても本文中第3章に「30年間の収益的収支見通し」のグラフを掲載しているので、電気事業と同様に、「参考資料>30年間の投資・財政計画」へ移行します。</p>
--	---	---

以上